環境ハイライト［製品の環境負荷低減活動］

日野自動車では、開発時より環境目標を定め環境負荷の低減技術によりこのプランの実現を図っています。

2010年の5月には「きれいな空気の循環」というコンセプトの基に排出ガス低減に寄与する新しい技術を搭載した製品を世に送り出しました。

CO_2低減に大きく寄与する低燃費に向けた技術に対しては、車両性能はもとよりドライバーの低燃費運転を支援するエコドライブの技術も含め向上を図りました。

そのほか環境負荷低減に向けリサイクル、環境負荷物質の低減などに向けた技術も継続して推進していきます。

※詳しくはこちらの「エア　ループ」の情報をご覧ください。

環境負荷の低減技術

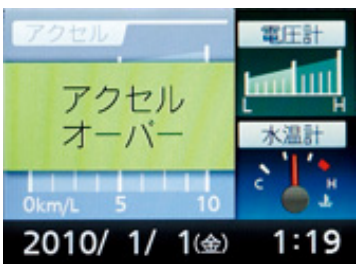
低排出ガス技術	低燃費技術（CO_2低減技術）	リサイクル技術	エコドライブ支援技術

エコメータ・エコツリー

エコドライブの状態に応じてツリーの葉が増減しドライバーのエコ運転意識を高めます。

Myドライブマスター

ドライバーに画面表示と音でエコドライブのガイダンスをおこないます。



アイドルストップシステム

渋滞、信号待ちなどにシフトレバーをニュートラルにすると、自動的にエンジンがストップします。

リサイクル材料

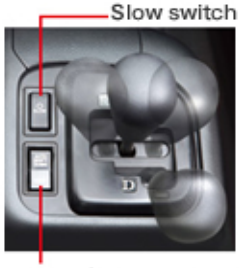
内装樹脂部品にリサイクル性のよい熱可塑性樹脂を採用。フロアマット裏面フェルトやシートクッション、バッテリカバーにも再生材を積極的に採用しています。

空気抵抗低減

- 低空気抵抗キャブの開発。
- エアロバンパ、ウインドデフレクタの装着により空気抵抗の低減に寄与します。

Pro Shift12

燃費効率のよいグリーンゾーンを自動的に選んで、低燃費走行に寄与します。



軽量化

材料、部品の低減等により車両の軽量化を実現しました。

ハイブリッド化

（小型車、中型車、バス）日野が熟成を重ねたハイブリッドシステムで燃費向上に寄与します。

新ＤＰＲクリーナー（中型車）

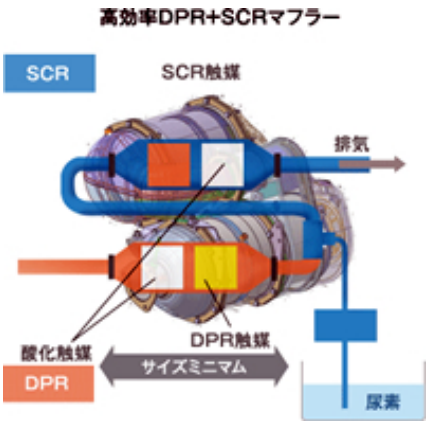
排出ガス全量を高耐熱性セラミック壁に通して濾過する「ウォールフローターイプ」の微細孔フィルターを採用しました。

効果を最大限に発揮させるために、一定量のススが堆積すると自動的に多くなったススの燃焼（再生）を行うクリーニングモードに移行します。

従来のタイプと同等サイズで自動再成率を向上しました。

ＤＰＲ＋ＳＣＲマフラー（大型車）

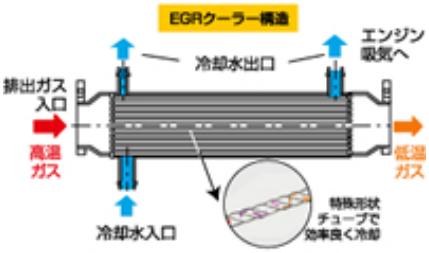
PMの捕集力を向上させたDPR - クリーナーと、NOxを無害な水と窒素に分解する尿素SCRシステムを組み合わせ、NOx、PMを低減しました。



低排出ガスエンジン

クールＥＧＲ

排出ガスの一部を吸入空気とともに混合させて燃焼温度を下げてＮＯｘを低減します。



パルスＥＧＲ

排気脈動を利用し排気バルブから排出ガスを再循環させる日野独自のＮＯｘ低減システムです。

低燃費エンジン

エンジン協調制御システム

各種センサーからの情報をエンジンＥＣＵが、それぞれのシステムにフィードバック。きめ細かに、かつ総合的にコントロールすることでＮＯｘ，ＰＭ、ＣＯ2を低減し、同時に燃費の向上も図ります。